

# いっぱん質問

行政の考えを問う



## 新井 高雄 議員

住民と力を合わせ  
「碓井・大分坑線」存続を……………11P

## 田中 義幸 議員

公共施設の更新費用は  
どうなる……………11P

今回の一般質問は、3月7日に行なわれました。

4月に市長選挙が予定されていたため、今定例会の条例・予算等は必要最少限の提案となっています。議会としては、市長選挙後の新市長に詳細な質問を行うこととし、今定例会で質さなければならない事項のみ一般質問を行いました。

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

田中 義幸 議員



問 公共施設の更新費用は  
どうなる

答 現状維持すれば  
年間41億円かかる

**質** 総括は政治を行う者の務めだ。あえて質問をさせてもらう。公共施設の設置状況と財政状況を問う。  
**大村企画財政課長** 体育館、野球場、市営住宅など全国自治体と比較し非常に多い。普通交付税の縮減や人口減少で市の財政は厳しくなる。  
**質** 公共施設の更新費用はどうなる。  
**企画財政課長** 現状を

維持すれば40年間で約1661億円、年間約41億円かかる。  
**質** 平成33年以降投資的費用(更新・改修費用)はどうなる。  
**企画財政課長** 8億5千万円を計上している。  
**質** 41億円必要なのに8億5千万円だ。公共施設見直しの財政効果はどうなる。  
**企画財政課長** 20年間で約279億円、単年度ベースで約13億円の財

政効果だ。  
**質** 41億円には程遠いが残りはどうする。  
**企画財政課長** 全ての公共施設の見直しが必要になる。  
**庁舎建設の総括意見** 以上の議論からすると嘉麻市は基礎的自治体として存続するか疑問だ。交付税の縮減や人口減で財政難となり、公共料金の高騰、住民サービスは低下する。住民はより暮らしやす

い都市部周辺へ流出し、ますます過疎化へと向かう。その結果、桂川町・飯塚市との合併は避け通れない。とすれば、新庁舎建設は利口な考えではない。  
**質** 市政運営について1つだけ残念に思う。それは庁舎建設の是非を問う住民投票だ。署名が規定数に達しなかったが、市長が決断すればできた。投票の結果「庁舎建設がいい」となれ



ば市民と行政が一体になっていった。  
**赤間市長** 議会の議決だ。議会の意思を尊重しながら行政を行っている。  
他に施政方針の総括をおこなった。

新井 高雄 議員



問 住民と力を合わせ  
「碓井・大分坑線」存続を

答 2市1町が連けいして  
存続活動している

市長選挙のあるなしにかかわらず、市民生活で直面する課題、緊急に解決しなければならぬ課題について質問を行なう。  
**質** 西鉄バス廃止計画で、地元行政区長の方々の話し合いをした。参加者の意見は「廃止されるのは困る」「まちがさびれる」「減らしてでも残してもらいたい」だ。1月29日、碓井行政区長会が出した廃止反対

の要望書の取扱いは。市の一方的な広報、周知だけでなく、3月27日に経過と存続案の説明会を開く桂川町のように、市民の声や意見を直接聞く考えはないか。  
一方、市は西鉄バスから1月25日「存続するにしても全便を残すことは困難」「運行回数を減らさざるを得ない」との回答を得たと発表している。

同社の経営方針は、自治体との連携を深め、交通ネットワークの維持拡充に努めるとうたっている。  
常日頃、市は財政が大変、予算がないと言っているのに、同社に赤字補てんをしてでも存続活動しているというが、まずなによりも同社の経営方針による責任を求める。  
**小林地域活性推進課長** 存続は2市1町、連け

いして活動している。要望書は、西鉄バスに報告した。同社から複数の提示を受けているが、路線案として定まったものはない。説明会は、3月から4月におおむね方向性が定まった中で検討する。  
その他の質問  
大隈地区産廃火災、熊ヶ畑産廃拡張・埋立て、新庁舎建設にみる市役所のあり方。



旧臼井駅の発着場